廿三日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘威
印刷人　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　[illegible]活版所
發行所　福島縣石城郡平町[illegible]町十四　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

磐城も入山も 全く靜穏に歸す
十九日以來入坑しなかつた 磐炭會も漸く納得

內郷村磐城炭礦の磐炭會では坑夫組合側との妥協條件はわれ等の面目を踏み潰したものであると憤慨し十九日以來十三ヶ條の要求條項を提げ會社へ迫り百余名入坑せず會社幹部も鎭撫に苦心してゐたが、二十一日正午から同所竹の內クラブに氷室鑛業所長等と若松磐炭會長等と會合懇談の結果、今後は磐炭會員でなければ會社は雇入れぬと釋明を容れて要求條項を徹回、又入山炭礦では廿日の解決條件は會社としては顧問高野喜六氏に無條件で一任解決したと稱してゐたところ組合側から協定事項を發表されたので俄に狼狽しまた高野氏から組合側に對し發表せぬ約束を何ゆゑ守つてくれぬかと抗議を申込んだが、これまた釋明で事濟み、茲に於て常磐各炭礦の勞働爭議はこゝに一段落となり暗雲全く去つて元の靜穏に歸した。

富岡町に移轉する 濱三郡木炭事務所
總代會で採擇に決す

濱三郡木炭同業組合では十九、二十兩日元石城郡衙內に總代會を開き二十日は豫算案を附議したところ三千三百圓で新事業に計上した木炭倉庫建設に異議起り盛んに不用論を主張する者出で委員附託說を一蹴しまた組合事務所を平町に置くことは南部に偏してゐるから双葉郡富岡町に移轉建議案を双葉、相馬の議員十四名から提案され二三の異論もあつたが結局採擇に決し幾多波瀾の後評議員會修正通り豫算は二萬九千九百二十七圓を可決し評議員一名の補缺は双葉郡龍田村久保田淸氏を擧げ同夜九時を過ぎてら漸く閉會した。

▲産馬奬勵金交附

石城郡産馬畜産組合では昨二十二日蕃殖牝馬奬勵金千圓、種牡馬奬勵金二百九十圓を左の如く組合員に交付した。

▲蕃殖牝馬奬勵一等三十五圓磐崎市川庫吉外四名▲二等二十五圓上遠野山野竹松外十四名▲三等十五圓入遠野根本康雄外三十九名▲種牡馬飼養優良者一等三十圓宛上遠野山野新吉外二名▲二等二十圓宛入遠野小吹善次外四名▲三等十五圓宛田人小牧敏元外六名▲種牡馬飼養補助一頭二十圓宛二十八頭分交付

岡部警部補 郡山に榮轉

平警察署次席警部補岡部泰見氏は二十三日附を以て郡山署次席に榮轉と決したが岡部警部補は中村警部補の後を受けて來任し今日まで部下部長級でさへ驚く程精勤その職に當り今回の爭議には又異常の手腕を示して警察部に認められ今日の榮轉を見るに至つたものである。

尚は岡部警部補の後任として片寄警部補任に來決した。

家具指物商で 優良徒弟表彰

平町家具指物商組合では二十三日午前十一時平町古鍛冶町天理教會に於て優良徒弟表彰式を行つたが伏見町長等臨席、組合長から優良徒弟に紀念品並に賞狀を授與した。

磐城實業銀行 愈々新築と決す

平町磐城實業銀行は前縣議鈴木辰三郎氏が專務取締役として手腕を振つてゐるため社運益々あがり現在の社屋では狹隘を告げてゐる狀態で早くから改築の要を叫ばれてゐたが今回漸やく株主の承認を得たので新館を建設する事になつた、場所は磐城建物會社所有地を買收したので同會社と併證し得る大建築をなす筈であるが工費其他は未定、七月頃までには竣工の豫定である

此の雪で 麥は大助かり

極寒と旱天のため麥の發育は極度に萎縮し縣下一般の麥作は憂慮されて居た折柄過般の降雪でその枯死を免れ甦つたが其後尚水分不足で臺地及び輕鬆土は發育遲々たるものがあつたが今回の降雪で至るところ充分に水分不足をたさない成育には結構な雪と一般から見られてゐる、右に付いて農事試驗場の一技師は

此間の雪で枯死は免れたが何と言つても稀に見る酷寒と旱天のために麥作の成長にさまたげられ分蘖なども殆んど萎微して發育は非常に憂慮されて居たが此の雪は結構です、三月の雪は余り感心しないが今の雪は結構です、今迄裸麥が最も旱天の被害が多く次は大麥で中でもゴールデンメロンがひどく小麥は大した被害はなかつた、尚追肥をやらうとしても土地が乾いてゐるため水を引いても駄目でしたが今度の雪で追肥もよからうと思ふ。

勞農黨組織準備の 時事問題演說會
大山郁夫、布施辰治氏等 けふ平劇場で獅子吼

勞働農民黨平支部組織準備會後援時事問題並に炭礦爭議批判演說會は二十三日午後六時から平町平劇場に開く筈であるが辯士は左の名士揃ひで盛會を豫想されてゐる、辯士左の如し。

▲勞働農民黨中央常任委員長大山郁夫氏
▲自由法曹團辯護士勞農黨中央委員布施辰治氏
▲日本農民組合岡崎一天氏
▲統一運動全國同盟市電自治會島上善五郎氏
▲關東評議會眞柄信吾氏
▲統一運動關東地方同盟本澤兼次氏
▲日本勞働組合評議會山本懸藏氏
▲福島合同勞働組合渡邊義通氏

坑夫組合で 感謝の辭
一般に配布

強大磐炭王國を向ふにまわし今や平和の舊態に復した日本鑛夫組合磐城炭鑛支部ではこの程左記の如き謄寫版刷りのビラを地方一圓に配付した。

磐炭爭議解決に際して
地方町村民諸君に感謝

今般磐城炭鑛內に勞資の紛爭を見遂に二十余日の同盟罷業を惹起しましたが、地方町村民の諸君は幸ひに我爭議團の要求の正當なることゝ行動の公明正大なる點を了解して下され精神的並に物質的に甚大の應援を贈られたことは我等の感謝する次第であります、この爭議の進行中勞資の双方に多少の騷擾を惹起し爲に不安の氣を醸したことは誠に遺憾とする次第でありますが幸ひにして大なる失策もなく茲に吾等の勝利を得るに至りました解決に至る經過、解決の內容等に就ては既に新聞紙上にも詳報されてゐるのでこの點は省略しますが、斯も有利なる解決を得たのは一面に於て地方町村諸君の御盡力によるものと感謝するものであります。云々

仙臺屋の
藏の鍵が破損

平町一丁目仙臺屋吳服店の鍵が金屬製のものを以てこぢ開けやうとしたらしい損所があるのを二十一日午後一時頃店員が發見平署に屆け出でた。

▲雫石氏の葬儀

植田水力電氣株式會社庶務主任雫石菊雄氏の葬儀は二十二日午後二時植田町常春院で施行されたが地方名士多數參列し盛賑を見た

▲呆れた親爺

平町鎌田町一三屋根職志賀金作(五〇)は五人の子供を悉く徒弟その他年期奉公に出しその金で酒色に耽りその上家人に暴行するといふ子不孝者で家人も困り果てゝゐたが二十一日も同樣泥醉の上家人に亂暴を働き散々に毆打するので內縁の妻うめの(四四)は平署に說諭方を願出た。

「平模擬市會」市會議員得票

四〇二票	井上貞次郎氏
三八五票	吉田寅之輔氏
二〇五票	齋藤英二郎氏
二〇三票	白井一郎氏
二〇一票	綠川喜三郎氏
二〇〇票	高橋龜松氏
一六六票	山野邊東次郎氏
一六〇票	三森虎雄氏
一二八票	鈴木昌雄氏
一二六票	馬目雅治氏
一二一票	酒井淸氏
一二一票	諸橋守次氏
一一二票	吉村安次郎氏
一一二票	柴田德二氏
一二〇票	須田甚太郎氏
一〇八票	大森勇氏
一〇七票	關內正一氏
九十票	荻原義雄氏
八十八票	渡邊源吉氏
八十一票	馬目武之助氏
七十五票	保坂鎰八郎氏
七十五票	山崎德次郎氏
六十票	櫻井淸氏
六十票	眞木桓氏
四十四票	山田盤磨氏
四十票	猪狩庄平氏
三十六票	多田井笑次郎氏
三十二票	阿部政右衛門氏
三十二票	蓮沼龍輔氏
三十一票	草野順平氏
三十一票	横山顯氏
三十一票	高倉精一氏
三十票	諸橋正次氏
三十票	鈴木武雄氏
二十八票	鷹崎正見氏
二十三票	杉本榮一氏
二十三票	木田藤次郎氏
二十一票	鈴木邦三郎氏
二十票	佐藤武之氏
十八票	山崎淸三氏
十五票	海老原章四郎氏
十三票	關內喜久次郎氏
十二票	千葉彥治氏
十二票	諸橋元三郎氏
十一票	坂本隆藏氏
十票	山野邊大五郎氏
八票	瀧澤俊平氏
七票	市原守馬氏
六票	中野康平氏
五票	長瀨延太郎氏
五票	吉田喜代治氏
二票	熊田謙次郎氏

勿來の關上空で
航空思想宣傳飛行

勿來町では航空思想普及のため來る二十七日千葉縣津田沼町伊藤飛行場から飛行機一臺を招ざ勿來關附近で宣傳飛行を行ふ事になつたが、之に用ふる飛行機は同所のニユポール百二十馬力で大藏、菊地兩飛行士が操縱すると。

▲醉漢檢束　平町長橋町果物商森政雄(三〇)は十九日夜飲酒泥醉の上平驛前で暴行を働らき平署に檢束され二十一日說諭の上放還された。

▲讀者慰安劇　平町吉田新聞店並に至誠堂新聞店では合同主催の下に二十六日から四日間聚樂館で愛讀者慰安興行を行ふ筈であるが出演俳優は市川百合次、勝川又藏、坂東彥藏一行初日出し物左の如し。▲御目見得だんまり▲一番目魁難波戰記▲中幕上鬼一法眼三署巻▲中幕下菅原傳授手習鑑▲大切松竹梅戀緋鹿子

讀者論壇

共同的戰線に立て

靜岡にて　木田生

（二）

新潟縣下の小作爭議は日本領土津々浦々まで知名なるは今更言ふも更で、近きは靜岡縣濱松市日本樂器會社の二千有余名の雇傭人對資本家の勞働爭議等其他一々茲に枚擧するならば數ふるに遑なき爭議はあげらるであらう、然るに大正の御代迄無難無事なりし常磐炭田に咄起こして昭和の新春に心氣一轉改革せられたる哉、然かも大炭礦を以て自任する磐城炭礦に此不祥事の發生したるは、是れ正に進化論の一貫をものするに確實に價あるを信じて止まぬものである。今や吾が大平町は近き將來に於て否眉目に市制を布かんとするに當り町民大半は皆な商店と言はず、工業者と云はず、料理店と言はず、附近大小各炭礦の散在しあるため其余澤に預りあるは筆者の今更言を俟たぬ所なるが爲めに爭議發生以來直接、間接其の打擊を蒙りたる事甚大にして延いては廣義より狹義に言ふならば、打擊を受けたるそれ丈けが市制を布かんとする日期の時機に早晩の差を產みしめられたるものと信じて止まぬものである。故に一日も早く町民諸君の熱心なる改革心の自覺と町是とを樹てゝ市制を促進せんと欲さば要は一に町内の內型的を是とし外型的なる附近農村の改發を經濟的に間接に波及せしめ共存共榮の實績に的覺せしむるを要すなり、何んとなれば近き大平市は工業の市街都市と云ふよりも商業の發展地にして亦附近農村を全半相手と爲すにあればなり。

投票用紙

「模擬平市會議員」

松ヶ岡公園の
冬の情景!!!
靜かに深みゆく
冬の
公園池畔に
御來遊あれ
松ヶ岡公園池畔　電話二二六番

新案特許
カシキモノ
貸衣裳
平古鍛冶町一
茗荷屋貸衣裳店

古家より
の藥
支那六神丸
定價一圓二圓五圓
眞正の六神丸として好評偉大
復方ヂアスターゼ錠
あらゆる胃散にて癒ざる人々に直ちに服用を勸む
大阪賣藥
山野邊藥局
平町五丁目角

三井呉服店
平町三丁目
電話三十八番

連鎖的秘寶映畫上映
プログラム
時事新聞所載　前田曙山原作
好評連續　黑髮夜叉　第三篇
疑問の怪魔捕手に迫られた乾隼人の生命如何
實寫　樂しき一日　一卷
正邦宏蒲田復歸第一回作支那劇
主演　正邦宏・志賀靖郎・八雲惠美子
支那人街哀艷影片　霧の中の灯　全十卷
陰慘な支那街に起る涙多き哀艷極まる物語
◎本年度の映畫界を飾る代表巨篇◎
河部五郎・大內河傳次郎・尾上多見太郎
谷崎十郎・市川市九・桂武男・櫻木梅子主演
幕末捕物劍爭史　修羅王　前後十五卷　全部上映
暗夜の濠端靜寂を破つて通行の三人ノ武士に一直參か……旗本か……と鋭い聲で呼ぶ覆面姿の怪人があつた浪人とは無禮……忽ち空間に紫線がさつと電光散れば三つの魂が飛び地上に黑い屍が殘された、わ……血を好む村正が微笑んだ……
料金普通　廿四日より　堂々封切り　平舘
辯護士　長谷川陸郎　出張　法律事務所
民、刑事事件親切に取扱ひ申候
並貸金及賣掛代金の取立、貸借關係の整理部の設あり
主任　渡邊忠次郎
平町川丁目（郵便局裏通り）
良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城セメント會社特約店
和洋鋼鐵
金物問屋　釜屋商店
磐城平電話一九三九番
確實敏捷は釜の生命なり!!!
印刷物の御用は……加納活版所

平町
病醫院案內

内科　胃腸専門　十二指腸虫病
外科　痔瘻包茎肛門病　淋病婦人病
電話七〇一
平南町　松村病院

外科一般、婦人科
耳鼻咽喉科
慈惠醫學士　新妻由五郎
日本醫學士　高橋貢
赤心堂病院
田町　電話四七五

入院隨意
專門　痔
上田外科醫院
南町　電一二九

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平町南町
電話一七〇番

產科婦人科
二月より一日より　診療開始
產婦人科部長
醫學士　野秋善直
尚は院長菊地博士は毎日午前九時から午後四時迄又何時でも往診します
菊地博士の住所
舊城跡三ノ丸（丹後澤）
磐城　共濟病院
◎看護婦至急募集す

內科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科
高久病院
院長　高久忠
平町　電話一三五

診察無料
其他實費
平町實費病院
【電話五五一番】

原遞科醫院
平町土橋通り
電話三一番